

平成 29 年度第 2 回田原市まち・ひと・しごと創生連携会議

委員意見要旨 平成 30 年 2 月 26 日（月）開催

(1) まち・ひと・しごと創生関連事業の効果検証について

(2) まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン集（平成 30 年 3 月）【案】

◆雇用の創出・就労促進について

(1-1 創業支援)

- ・H24 から H26 にかけて商工会で開業と廃業について調査した中では、全国的に開業と廃業の差がマイナス 0.1% で、事業者が減っている。田原市の場合、マイナス 0.9% で、事業者数減のスピードが速く、今後も支援に力を入れて、少なくとも全国平均に近づけていければと思っている。

(1-4 農畜水産業強化)

- ・輸出する場合、どこをターゲットにするのかを最初から考察していかないと不発に終わってしまう。そのためにもターゲットの明確化をする。ターゲットの明確化とパートナーの設定は注意深くやっていたいただきたい。
- ・農業関連の外国人研修生の出身国の数が増えてきており、言葉の問題、文化の違いへの理解が必要などの問題が挙げられる。

(1-5 観光地域づくり)

- ・個人、団体、インバウンドのお客様を観光客として呼び込むにはどうしたら良いのかと考えた時、個人は情報源の発信が一番大切。団体は国内、国外で違うと思うが、横の連携が必要だと思う。日本一の農業生産やキクといった素晴らしいものがある。また、トヨタ自動車といった世界に誇る企業もあるので、ものづくりとしての光明をどう活かし、どう観光に結び付けていけるのか。企業見学といったことも必要になると思う。

(1-7 サンテパークたはらの新たな魅力づくり)

- ・サンテパークは農業公園ということになっているので、公園という憩いの場の要素をもっとアピールしないと、今のよう何でも少しずつあるという状況では、地域の農業の情報発信としては弱い。

◆定住・移住促進について

(2-3 空き家活用推進)

- ・空き家は、再利用と地域環境を保持するための撤去の二面性ある。市としては両方やっていかなければならない。

◆若い世代の結婚・出産・子育ての希望実現について

(3-1 結婚・出産支援)

- ・若い世代へ出会いの場を提供しているが、女性の参加者が少ない。婚活イベントを開催している他のところでも女性の参加者を集めるのに苦労していると聞いている。イベントの魅力として施設等も重要だと思う。
- ・地域全体で婚活を支援していく仕組みを作ればもっと成婚率も上がるのではないかと感じる。
- ・農業の担い手の嫁不足は、非常に深刻な問題。

◆地域の魅力・住み良さの向上について

(4-1 市街地の活性化)

- ・街中に望むものが整いつつあるが、必要なものをどういう形でやるかが大きな課題。街中に観光客を呼び込む仕組みをぜひ考えていただきたい。

(4-5 医療体制の充実(地域医療))

- ・医療の充実、特に地域医療の充実が大きな問題だと思う。その点、赤羽根診療所の開設はいい取り組みだと思う。